



2017 年 3 月期 (第 19 期) 決算の概要等について

株式会社札幌ドーム (以下当社) は、本日開催の定時株主総会、およびその後の臨時取締役会、臨時監査役会におきまして、以下のとおり 2017 年 3 月期 (第 19 期) の決算を報告するとともに、役員が選任され、就任いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2017 年 3 月期 (第 19 期) 決算概要

※百万円未満および 1 万人未満切り捨て

○売上高	41 億 43 百万円	(前期比 6.4%増)
○経常利益	2 億 87 百万円	(前期比 35.8%減)
○当期純利益	1 億 65 百万円	(前期比 57.9%減)
○総イベント開催日数	134 日	(前期比 5 日減)
○総利用日数 (設営撤去等を含む)	262 日	(前期比 23 日減)
○稼働率	71.8%	(前期比 6.1 ポイント減)
○イベント来場者数	299 万人	(前期比 2.8%増)
○観光来場者・一般市民利用者ほか	13 万人	(前期比 9.0%増)
○総来場者数	312 万人	(前期比 3.1%増)

- ・ イベントの来場者数増加に伴い、貸館・商業・観光・その他事業がそれぞれ増収となり、売上高は過去最高の 41 億 43 百万円で増収減益となりました。
- ・ 総イベント開催日数は、プロ野球クライマックスシリーズや日本シリーズ、2017 冬季アジア札幌大会などの開催があったものの、コンサート開催日数が 5 日と減少し、前期を下回る 134 日となりました。総来場者数は過去最高の 312 万人となり、2 期連続で 300 万人を突破しました。
- ・ 「基幹業務システムのカスタマイズ」や、「POS システムのカスタマイズ」など、総額 46 百万円の設備投資を行いました。
- ・ 来場者向けとして「2 階・3 階トイレ増設」「スタンド席手すり増設」など、主催者向けとして「ダッグアウト内空調設備新設」など、施設の改良工事として総額 3 億 6 百万円の工事等を行い、その成果物を札幌市に寄付いたしました。
- ・ 剰余金の処分について
 - ①将来に渡る良好な施設設備の環境を維持するため、当社応分の費用負担に備え、「施設保全設備更新積立金」として 1 億円 (前期比 2 億 50 百万円減) の積立てを実施します。
 - ②期末配当金として、1 株につき 1,000 円、総額 20 百万円の配当を実施します (前期と同額)。

2. 役員一覧

代表取締役社長	山川 広行	(新任)	
取締役副社長	町田 隆敏		札幌市 副市長
専務取締役	北野 靖尋		
常務取締役	吉田 圭吾	(新任)	当社 事業本部長
取締役	紫藤 正行	(新任)	札幌商工会議所 副会頭
同	田森 哲也	(新任)	北海道電力(株) 執行役員札幌支店長
同	末長 守人	(新任)	北海道瓦斯(株) 取締役常務執行役員
同	南出 裕	(新任)	(株)北海道新聞社 常務取締役管理統括本部長
同	生方 誠司		サッポロビール(株) 上席執行役員北海道本社代表兼北海道本部長
同	井上 幸三		(株)電通北海道 代表取締役社長
常勤監査役	鈴木 敏哉	(新任)	札幌商工会議所 派遣
監査役	草薨 金矢		草薨金矢税理士事務所 所長
同	郷 雄司		(株)北洋銀行 公務金融部長

3. 当社による施設改修の取り組みについて

当社の収入および利益は、公共の施設である札幌ドームの維持管理やお客さまの利便性、サービスの向上、選手のプレー環境整備のための施設改修などを通して、市民の皆さまや主催者さまに還元させていただいております。これまでに実施した施設の改良工事などの総額は約45億円となっております（次ページの一覧表参照）。これからも飲食・物販、広告などの自主事業収入の一部を活用し、札幌ドームが安全安心そして快適な施設となるよう、適切に施設改修などを行ってまいります。

■今後計画している主な改修工事

【スタンドの階段手すりを増設します】（2018年2月までに完成予定）

階段の上り下りの負担を軽減するため、スタンド（観客席）の階段通路の手すりを2018年3月までに順次増設し、両側に手すりがあるよう改修を行っています（2017年2月から工事継続中）。新たな手すりは持ち手部分を2段とし、お子さまでも利用しやすい形状のものを設置しています。

【ホヴァリングサッカーステージの天然芝を更新します】（2018年中に完成予定）

ホヴァリングサッカーステージは重さ約8,300tの移動式サッカーグラウンドですが、天然芝補修時の目砂入れ（※）などにより、開業以来少しずつ重さが増しています。そこで、天然芝張り替えならびに砂の量調整を実施することになり、まずは更新用天然芝を屋外サッカー練習場などで育成中です。積雪時の天然芝張り替えは出来ないため、作業期間は2018年のJリーグシーズンと一部重なってしまいますが、根がしっかりと張った天然芝を準備することで作業期間を短縮し、約3か月で作業完了できるよう準備を進めています。

天然芝更新ならびに砂の量調整は、札幌市の札幌ドーム保全計画に基づき札幌市負担にて行われる予定です。

※目砂入れ：天然芝の傷んだ部分に砂を入れることで、凸凹を修復、あるいは根付きを促進する作業です。

【野球開催時の人工芝を全面更新します】（2019年3月までに完成予定）

良好なプレー環境を確保するため、当社計画よりも前倒して人工芝の全面更新を行う準備を進めています。ただいま仕様等の調査・検討を行っており、2019年のプロ野球シーズンに間に合うよう準備を行います。

■札幌市が計画している主な改修工事

当社による改修工事と並行して、施設所有者の札幌市による改修工事、ならびに保全工事も行われる予定です。現在予定されている改修工事を抜粋して紹介します。

【野球開催時のフェンスを更新します】（2018年3月までに完成予定）

良好なプレー環境を確保するため、内野・外野すべてのフェンスを更新し、より柔らかいフェンスに改良します。

【サッカー用照明設備を更新します】（2018年2月までに完成予定）

札幌市の札幌ドーム保全計画に基づき、ドーム天井にあるサッカー用照明設備を更新します。新たな照明はLEDタイプとし、明るさ向上と使用電力の低減を図り、2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピックサッカー種目の開催に備えます。

※実施内容は変更となる場合があります。

■これまでに行った主な施設の改良工事等

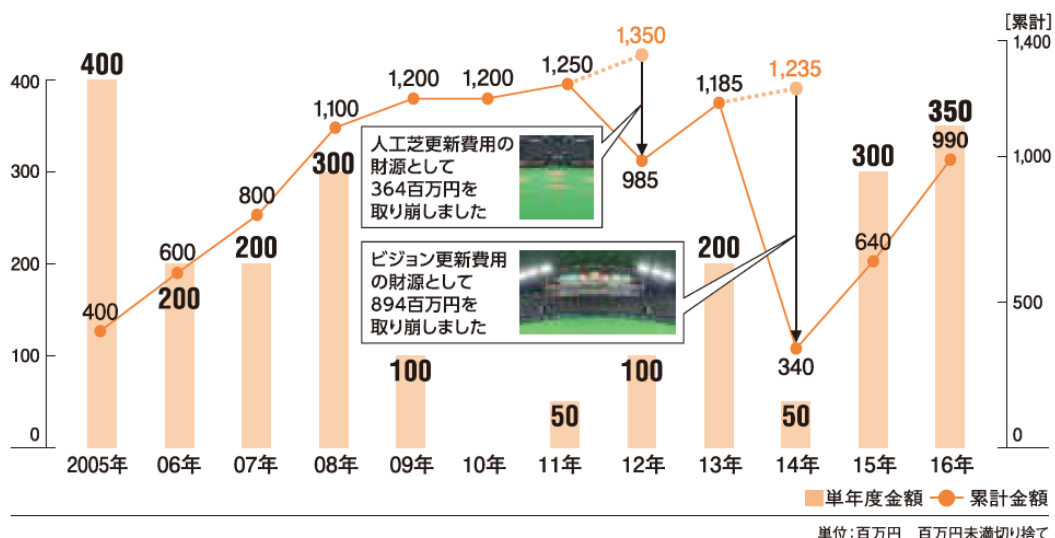
お客さまや主催者さまからのさまざまなご意見やご要望に基づき、より快適に札幌ドームをご利用いただくため、施設所有者である札幌市と協議のうえ、施設設備の改良工事等を実施してきました。

年度	主な工事	合計金額
2001年度	サイン関連工事	1億62百万円
2002年度	スタンド席手すり設置	2億81百万円
2003年度	バックネット取り換え	1億41百万円
2004年度	野球用人工芝更新 ※1回目 移動式チケット売り場設置	4億63百万円
2005年度	コミュニケーションスペース設置	1億49百万円
2006年度	大型複合遊具「キッズパーク」新設 メインスタンド（バックネット裏席）改良	3億97百万円
2007年度	車いす席改良 トイレ洗浄便座化	1億97百万円
2008年度	フィールドシート設置	2億21百万円
2009年度	1F コンコース喫煙室の売店化（現 サブウェイ）	1億65百万円
2010年度	トイレ一部洋式化改修（2014年度まで毎年実施）	65百万円
2011年度	スタンド席カップホルダー整備 バルコニーシート改修（現 スカイボックスシート）	1億97百万円
2012年度	野球用人工芝更新 ※2回目 1F コンコース喫煙室の売店化（現 築地銀だこ）	5億06百万円
2013年度	グッズ☆ジャム拡張	2億80百万円
2014年度	大型ビジョン更新	8億76百万円
2015年度	トイレのハンドドライヤー設置 B2F トイレ一部洋式化改修	87百万円
2016年度	スタンド席手すり増設 2F 女性用トイレ増設	3億06百万円
合計	当社負担で実施した改良工事等の累計金額 （2001年度～2016年度実施分）	45億03百万円

（税抜 百万円未満切り捨て）

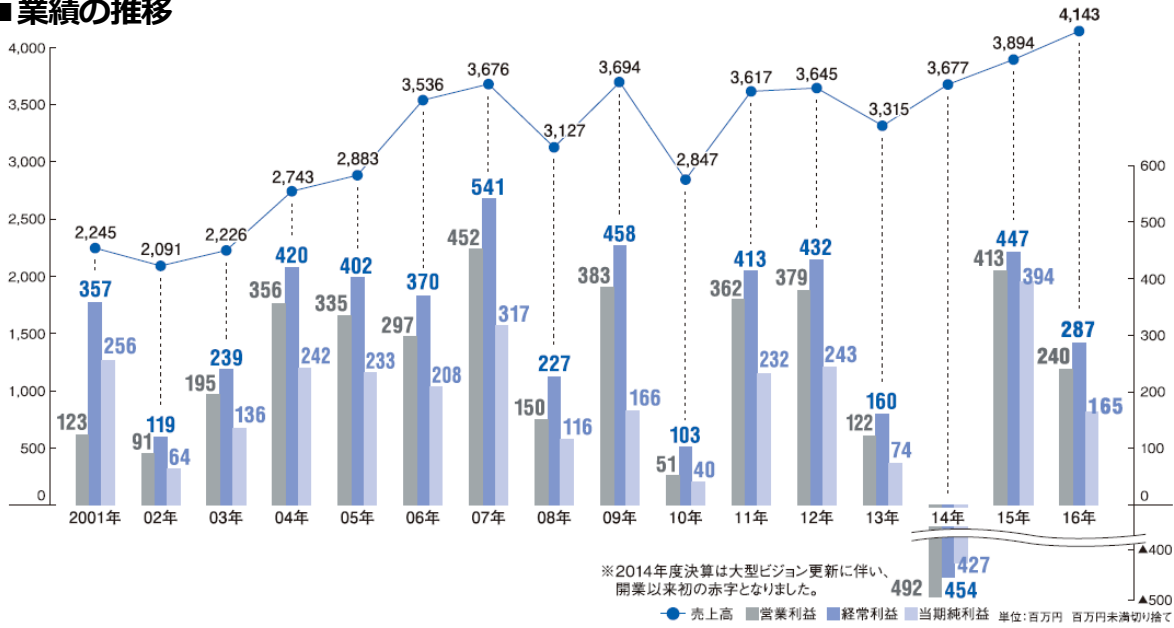
■施設保全設備更新積立金の推移

中長期的な維持保全に備えて積み立てている任意積立金の状況です。

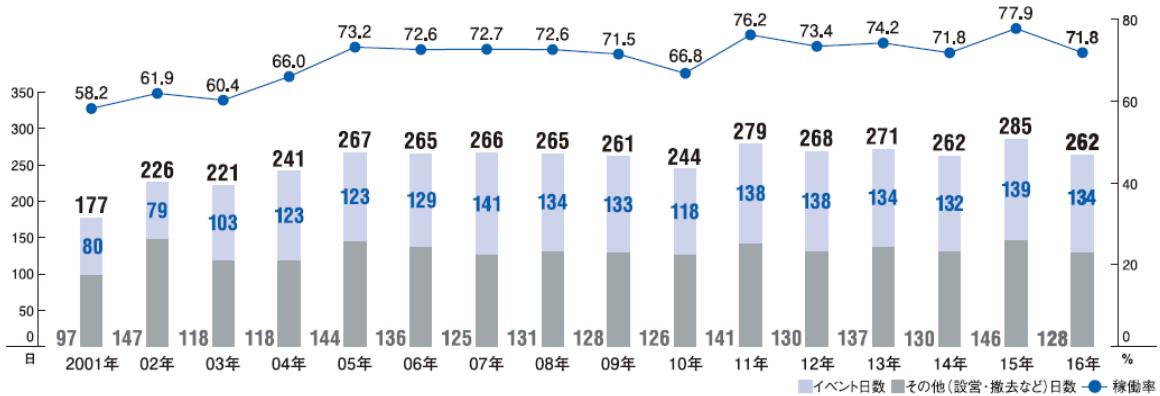


<資料>

■業績の推移



■利用日数および稼働率の推移



■来場者数の推移

